

第3回 ACMS コンソーシアム 技術交流会

生簀養殖魚の計数と新技術開発の 現状と課題

開催日時： 令和2年2月28日（金）
14時00分～17時00分（受付13:30～）
場 所： 東京都港区芝浦2丁目14番9号
一般社団法人日本海事検定協会
東京第一事業所 5F大会議場

開催趣旨

FAOの報告では2030年の食用向け需要の62%が養殖水産物で占められると予想されており、養殖業は水産物供給の上で、今後益々重要になってくると思われます。その中で、生簀内の確かな尾数管理は、給餌量及び生産出荷量の調整を行う上でも極めて重要であり、養殖現場からは生簀内の飼育魚尾数を自動計数するシステムの確立が強く要望されています。これまでに私たちはマグロ生簀において、マルチ送受波ソナーを開発し、ピンガー（超小型超音波発信装置）を組み合わせた生簀内の魚尾数を計測する手法を提案してきました。すでにマグロ生簀養殖現場で、約50生簀の計測実績を経て、高い評価を受けているところですが、マグロ以外の魚種にも応用できる計測方法についても今後検討したいと考えています。

そこで、本技術交流会では、各界の方々から養殖業の近代化に向けた新技術に対する期待とAI, ICTを活用した革新的な開発の方向性をご講演いただき、さらに私たちの最新の開発機器と計測技術による幼稚魚・小型魚及びブリ・カンパチなどの他の魚種への応用事例の一端をご紹介し、今後の技術開発に対する貴重なご意見を賜りたいと考えております。

本技術交流会が会員の皆様及び関係者との実りある情報交換の場になり、日本の養殖業の発展に貢献できるような議論の場になることを期待しています。

交流会スケジュール

14:00～14:10

開会挨拶

ACMSコンソーシアム代表幹事 濱野 明

第1部

14:10～14:40

1. 農林水産業への貢献を目指した弊庫取組とACMSコンソーシアムへの期待
西川 洋一郎（農林中央金庫 JFマリンバンク部審議役）

14:40～15:10

2. 養殖業へのICTの応用 — 期待される科学的根拠に基づく尾数管理 —
山本 圭一（(株)NTTドコモ地域協創・ICT推進室担当課長）

15:10～15:50

3. 超高分解能水中音響探査システム (AquaMagic) の開発と生簀計測への応用

笹倉 豊喜 ((株)AquaFusion CEO/東京海洋大学客員研究員)
松尾 行雄 (東北学院大学教授)

(休憩) 15:50～16:00

第2部 パネルディスカッション

16:00～16:50

総合司会：濱野 明 (ACMSコンソーシアム代表幹事/水産大学校名誉教授)
パネリスト：講演者及び関係者

16:50～17:00

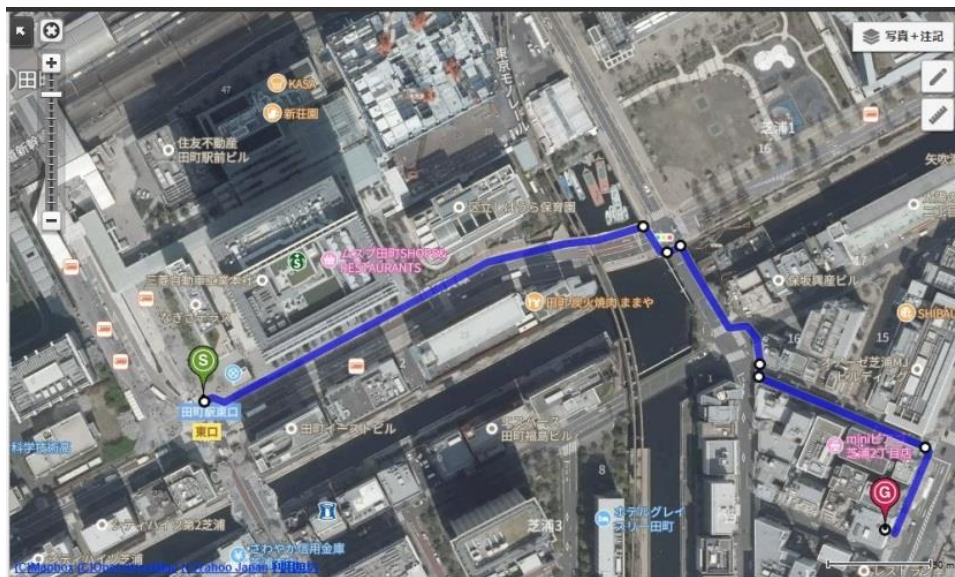
閉会 挨拶

第3部 交流会懇親会 (会場セッティング後)

17:30～19:30

交流会終了後同会場にてケータリング立食形式
懇親会参加希望者は事前登録をお願いします。 (参加会費：3,000円)

会場案内図



お問い合わせ・申し込み受付

一般社団法人 日本海事検定協会 担当：稲井邦夫 (* 横浜検査チーム)

*) 〒231-0002

横浜市中区海岸通 1 丁目 3 番地 横浜第一事業所 横浜検査チーム

TEL:045-201-3883 FAX:045-201-2858

E-mail: k-inai@nkkk.or.jp

交流会参加希望者は、**2月14日(金)**までにメールもしくはFAXでご回答ください。
尚、FAX でのご回答では 別紙をご利用ください。

ACMSコンソーシアムホームページ <https://acms-consortium.com/>
の「新着情報」からも別紙参加申込書をダウンロードできます。